

## 特別企画「『研究』で笑い『研究』で考える」

～イグ・ノーベル賞の創設者，受賞者たちと語る～

### 【概要】

「人々を笑わせ、そして考えさせてくれる研究」に対して与えられる「イグ・ノーベル賞」。先日、12年連続で日本人が受賞したことで話題となりました。

この度、北海道大学にイグ・ノーベル賞創設者マーク・エイブラハムズ氏を迎えてトークイベントを開催します。冒頭でマーク氏にお話いただいた後、北海道大学から生まれたイグ・ノーベル受賞者である中垣俊之教授、吉澤和徳准教授とともに「面白い」研究の意義，そのような研究を生み出す環境のありかた等について語り合います。

本イベントや、マーク氏による中垣研究室，吉澤研究室訪問の様子を収録した映像等は，2018年11月頃に北海道大学ウェブサイトにて公開を予定しています。また，誰でも閲覧できるオンラインジャーナル「科学技術コミュニケーション」(<http://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/jjsc/>)第24号でも，これらの全貌についてご紹介します。

【日 時】 2018年9月26日（水）16：00～17：00（開場 15：30）

【場 所】 北海道大学 遠友学舎（札幌市北区北18条西7丁目）

【ゲ ス ト】 マーク・エイブラハムズ 氏

1991年にイグ・ノーベル賞を創設。ユーモア系科学雑誌「The Annals of Improbable Research（風変わりな研究の年報）」の共同設立者であり編集者。

**中垣俊之 教授（北海道大学 電子科学研究所 所長）**

粘菌を用いた研究で，2008年にイグ・ノーベル認知科学賞，2010年にイグ・ノーベル交通輸送計画賞を受賞。

**吉澤和徳 准教授（北海道大学大学院農学研究院）**

ブラジルの洞窟に棲む，オスとメスで生殖器の形状が逆転している昆虫「トリカヘチャタテ」を発見した業績に対し，2017年にイグ・ノーベル生物学賞を受賞。



マーク・エイブラハムズ 氏



中垣俊之 教授



吉澤和徳 准教授

- 【主催】** 北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP),  
北海道大学 総務企画部広報課
- 【対象】** 北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) 受講生・修了生,  
物質科学フロンティアを開拓する Ambitious リーダー育成プログラム履修生
- 【参加人数】** 20 人
- 【言語】** 英語 (同時通訳あり)
- 【URL】** <https://terrace.cris.hokudai.ac.jp/eventlist/939>

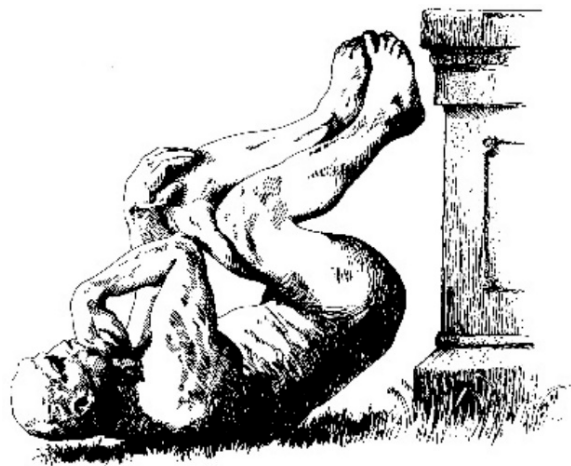
### 【関連情報】

#### イグ・ノーベル賞 (Ig Nobel Prize)

イグ・ノーベル賞は、1991年に創設された「人々を笑わせ、そして考えさせてくれる研究」に与えられる賞で、「表のノーベル賞」に対して「裏ノーベル賞」とも言われています。授賞式は毎年秋にハーバード大学で開催され、世界的な話題となっています。これまで24組もの日本人研究者が受賞しており、現在12年連続受賞中です。

2018年9月22日(土)～11月4日(日)には、東京ドームシティ「Gallery AaMo (ギャラリーアーモ)」にて、イグ・ノーベル賞の世界初となる公式展覧会「イグ・ノーベルの世界展」が開催されます。中垣俊之教授、吉澤和徳准教授の受賞研究に関する展示もあります。また、古澤輝由特任助教 (CoSTEP) が展示テキスト監修を行っています。

※URL：<https://www.tokyo-dome.co.jp/aamo/event/ignobel2018.html>



イグ・ノーベル賞 公式マスコット “Stinker”

#### お問い合わせ先

北海道大学総務企画部広報課研究広報担当 川本真奈美 (かわもとまなみ)

T E L 011-706-2093 F A X 011-706-2092 メール [rso@cris.hokudai.ac.jp](mailto:rso@cris.hokudai.ac.jp)

U R L <https://terrace.cris.hokudai.ac.jp/>

#### 配信元

北海道大学総務企画部広報課 (〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目)

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール [kouhou@jimu.hokudai.ac.jp](mailto:kouhou@jimu.hokudai.ac.jp)